

# 木津川圏域河川整備計画検討委員会 第1回資料 (河川及び圏域の概要)



大谷川(安居橋付近)

平成22年3月3日

京都府建設交通部河川課・山城北土木事務所・山城南土木事務所

# 目次

## 1. 圏域の概要

- 位置、諸元 ..... 1
- 地形、地質、気候 ..... 2
- 人口、土地利用 ..... 3
- 交通、植生 ..... 4
- 環境 ..... 5

## 2. ブロック別の概要

- ブロック区分 ..... 6
- ①木津川下流・中流右岸ブロック ..... 7
- ②木津川中流左岸ブロック ..... 10
- ③木津川上流ブロック ..... 13

## 3. 木津川圏域の災害史

- 既往災害 ..... 15



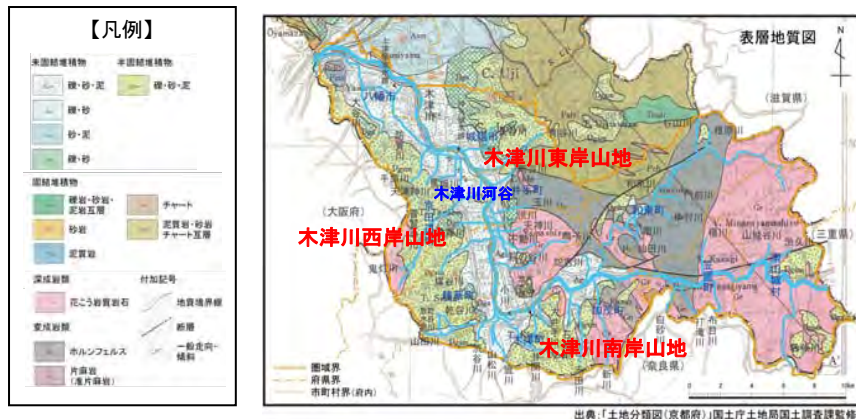


# 1. 圏域の概要（圏域の地形、地質、気候）

## 圏域の地形・地質



■圏域の中央部を木津川が貫流しており、木津川河谷の低地と東側の山地を含めた木津川東岸山地、木津川河谷の西側地域の木津川西岸山地、木津川の南岸地域の木津川南岸山地に区分される。



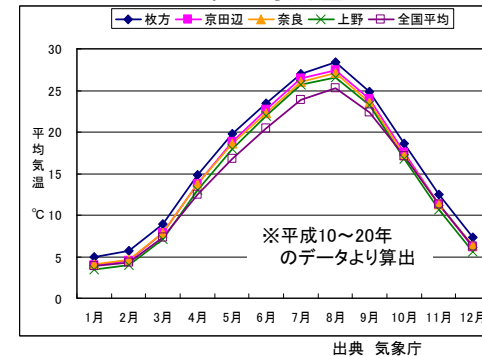
■圏域の東部の山地では花崗岩、ホルンフェルス、泥質岩等から構成される。一方、西部の木津川河谷の低地では、未固結堆積物の礫・砂、木津川西岸山地では、半固結堆積物の礫・砂・泥から構成される。

## 圏域の気候

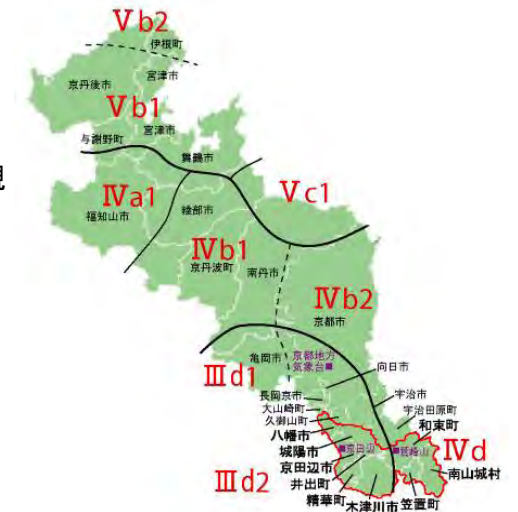
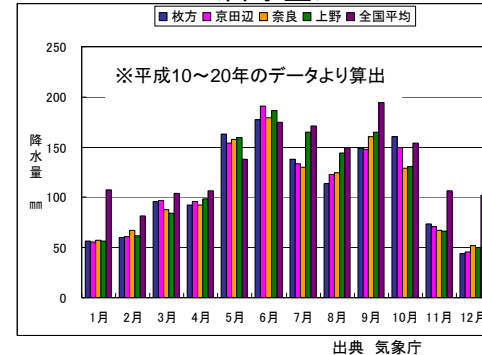
■降水量は、気象庁の枚方、京田辺、奈良、上野観測点とも年間1,350mm程度であり、全国平均(約1,600mm)より少ない。瀬戸内海気候に属し、いずれの観測点でも冬季の降雨量は少なく、春から梅雨にかけては比較的多い。

■年平均気温は、枚方で約16℃、京田辺、奈良、上野で約15℃であり、全国平均より約1℃高い。

### <年平均気温>



### <降水量>



- III d2... 京都盆地。瀬戸内海気候域にはいる。暑さは府域で最もきびしい。冬は降雪が少なく晴天の日が多い。年降水量は府域では最小である。
- IV d... 瀬戸内海気候区域に属する。暑さは府域で最も厳しく、冬は晴天の日が多い。年降水量は府域では最小である。

出典 日本地誌 1973

### <観測所の位置>



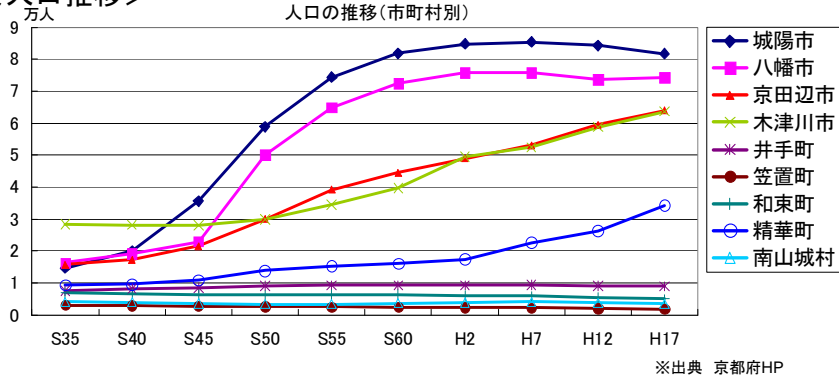
※気象庁の観測点は、木津川圏域に京田辺気象台があり、近傍に枚方、奈良、上野気象台がある

# 1. 圏域の概要（圏域の人口、土地利用）

## 圏域の人口

- 城陽市、八幡市では、昭和40年～平成2年にかけて人口が大幅に増加したが、平成2年以降は、ほぼ横ばいで人口が推移している。一方で、井手町、笠置町、和東町、南山城村では、横ばい又は緩やかな減少傾向にある。
- 京田辺市、木津川市、精華町では関西文化学術研究都市の開発に伴い、昭和50年頃から現在まで人口増加が続いている。

### <人口推移>



- 圏域の西部では建物や田・その他農用地が大部分を占める一方で、圏域東部では大部分が森林となっている。
- 城陽市、京田辺市、木津川市中心部付近では、宅地の開発が進む一方で、和東町中心部では、目立った開発が見られない。
- 京田辺市中心部の南側では、関西文化学術研究都市関連の開発により、土地利用が大きく変化している。今後、木津駅東側でも宅地開発が予定されている。

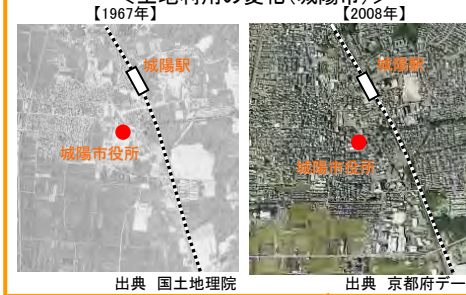
関西文化学術研究都市は、京都、大阪、奈良の三府県にまたがり、文化・学術・研究の新しい『拠点』として、次代をリードする。

### <関西文化学術研究都市：全域>



## 圏域の土地利用

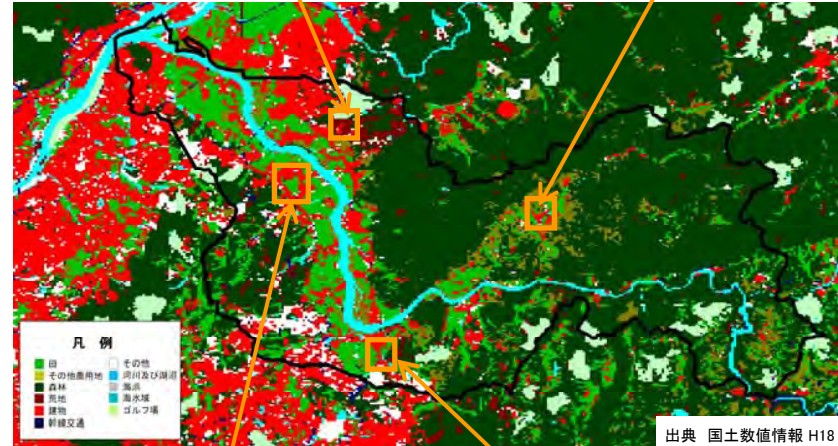
### <土地利用の変化(城陽市)>



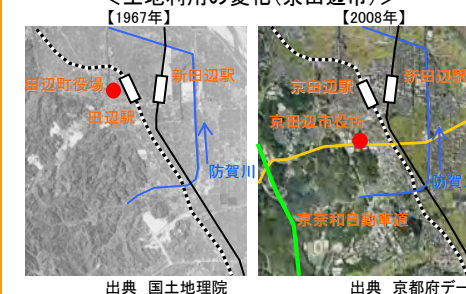
### <土地利用の変化(和東町)>



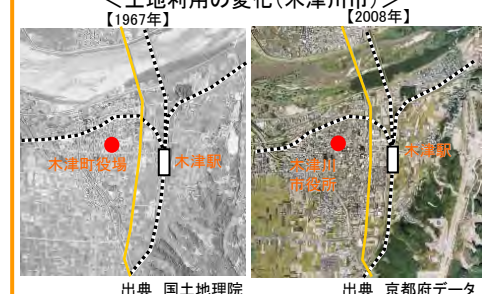
### <土地利用分布>



### <土地利用の変化(京田辺市)>



### <土地利用の変化(木津川市)>



# 1. 圏域の概要（圏域の交通、植生）

## 圏域の交通

■圏域の西部を中心に発達しており、京都と奈良を結ぶ多くの幹線（京奈和自動車道、国道24号、JR奈良線など）が、木津川を沿って南北を縦断している。

■また、大阪と滋賀、三重を結ぶ幹線（国道163号、国道307号、JR関西本線）が東西を横断している。

■現在、名神高速道路の混雑解消を目的とした新名神高速道路の事業において、八幡～城陽間で事業が行われている。

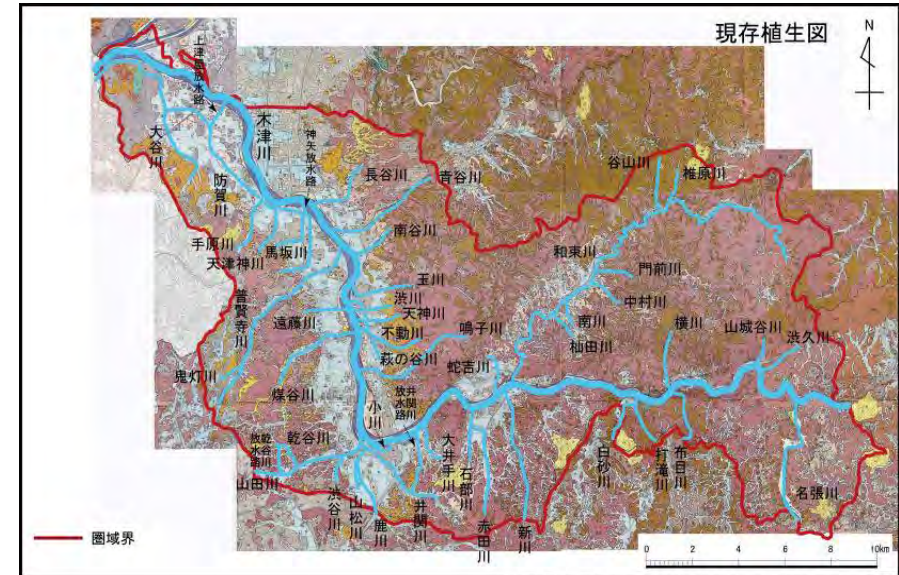
■圏域の東部は山地が大部分を占めていることから、東西を結ぶ2つの幹線（国道163号、JR関西本線）が横断しているのみであり、西部ほど交通網は発達していない。

<主要交通網>



【道路】 —— 高速自動車道 —— 一般国道 —— 高速自動車道(事業中)  
 【鉄道】  JR線  近鉄線

## 圏域の植生



出典：「第3回自然環境保全基礎調査(植生調査)」環境庁

VI ヤブツバキクラス域自然植生	VII ヤブツバキクラス域代償植生	IX 植林地、耕作地植生(各クラス域共通)	X その他
モミシキミ群落	コナラ群落	スギ・ヒノキ・サワラ植林	市街地
アラカシ群落	クスギ・コナラ群落	竹林	緑の多い住宅地
サカキ・コジイ群落	ススキ群団	落葉果樹園	工場地帯
	アカマツ群落	茶畑	造成地
	河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生(各クラス域共通)	畑地雑草群落	開放水域
	ヨシクラス	牧草地(人工草地)	
		水田雑草群落	

■木津川下流部では、木津川沿いにヨシクラスが分布し、背後の低地には水田雑草群落広がっている。

■木津川中流部でも下流部と同様に、木津川沿いにヨシクラス、低地には水田雑草群落が広がっており、背後の丘陵地や山地にはアカマツ群落が優占している。

■上流部では、木津川沿いのヨシクラスや水田雑草群落の分布域が少なくなり、アカマツ群落及びスギ・ヒノキ・サワラ植林が広がっている。

# 1. 圏域の概要（圏域の環境）

## 圏域の環境

### <主な両生・は虫類、昆虫類、鳥類の分布>



<オオムラサキ>



出典 パシフィックコンサルタンツ(株)

- 両生・は虫類
- 1.カスミサンショウウオ
  - 2.ヒダサンショウウオ
  - 3.ダルマガエル
- 昆虫類
- 1.ハッチョウトンボ
  - 2.オオムラサキ
  - 3.ゲンジボタル
  - 4.キマダラルリツバメ
- 山地・森林に生息する野鳥の主要生息(繁殖)地

<ハッチョウトンボ>



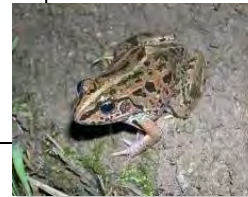
出典 農林水産省HP

<カスミサンショウウオ>



出典 京都府HP

<ダルマガエル>



出典 京都府HP

### <主な魚類確認種一覧>

種名	調査地点A		調査地点B		調査地点C		調査地点D		調査地点E		京都府レッドデータブック(京都府、2002)
	夏	秋	夏	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
コイ	11						1				
ギンブナ	107	1						5		5	
キンギョ									3		
カネヒラ	13										絶滅危惧種
タイリクバラタナゴ	4	38									
オイカワ	3	1	80	70	14	42	39	29	2	4	
カワムツ					161	118	234	63	470	244	
ヌマムツ				1	3						
モツゴ	8	120	3	24			1				
ムギツク							12	15			
タモロコ	9	44	3	10			2				
ゼゼラ	24						3				絶滅危惧種
カマツカ	3				3	97	11	3	2	1	
ズガニゴイ					2						絶滅危惧種
コウライニゴイ					4	2					
ニゴイ属	8										
コウライモロコ											
ドジョウ	2	11								1	
シマトジョウ					1		5	4	2		
ギギ					2	1					
ナマズ											
アカザ							1	1	1		絶滅危惧種
アユ							1	1	3	1	
メダカ	18	96	19	25							絶滅危惧種
タウナギ	2	1									要注目種-外来種(国外)
オオクチバス(ブラックバス)	1	1									要注目種-外来種(国外)
ドンコ			5	7			53	92	10	9	
ウキゴリ											
トウシノボリ			10	1			2				
カウシノボリ					31	22	53	51	133	60	
ヌマチチブ			2	3							要注目種-外来種(国内)

出典 河川水辺の国勢調査(防賀川、普賢寺川:H22年1月)、(和東川:H18年3月)

### <主なエビ・カニ・貝類確認種一覧>

種名	調査地点A		調査地点B		調査地点C		調査地点D		調査地点E		京都府レッドデータブック(京都府、2002)
	夏	秋	夏	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
ヒメタニシ	51	126	1	1							
カワナ			6	62					3	2	
チリメンカワナ					51	115	521	194			
サカマキガイ								40			
シジミ属		4	21	37							
スジエビ	1	6	177	411	6	49					
ミナミヌマエビ	2	21	24	100	149						
アメリカザリガニ	82	36	4	3			1				
サワガニ					1	1					要注目種

出典 河川水辺の国勢調査(防賀川、普賢寺川:H22年1月)、(和東川:H18年3月)

### 【両生・は虫類、昆虫類、鳥類】

■両生・は虫類について、木津川上流部や中流部左岸に絶滅寸前種※のカスミサンショウウオが確認されている。

また、木津川下流部の川沿いには、絶滅寸前種※のダルマガエルが確認されている。

■昆虫類について準絶滅危惧種※のオオムラサキが、圏域南部の雑木林を中心に確認されている。また、圏域南西部の湿地体には準絶滅危惧種※で、府天然記念物にも指定されているハッチョウトンボが確認されている。

■鳥類について、絶滅寸前種※のオオタカが、繁殖期にアカマツ林を営巣地とすることが多い。木津川市では、近年オオタカの営巣を確認できなかったが、里山環境の改善を図ることで、代替巣での営巣を確認できた。

### 【魚類、エビ・カニ・貝類】

■多様な魚種が生息しており、ゼゼラやアカザなどの絶滅危惧種※が確認される一方で、オオクチバスやタウナギなどの要注目種-外来種※も確認されている。

■エビ・カニ・貝類において、要注目種としてサワガニが確認されている。

<サワガニ>



出展 河川水辺の国勢調査

<ゼゼラ>



出展 河川水辺の国勢調査

## 2. ブロック別の概要（ブロック区分）

### ブロック区分

木津川圏域を、行政界、土地利用や開発状況に応じて、3つのブロックに分割する。

**木津川下流・中流右岸ブロック** … 大谷川、防賀川、長谷川、青谷川 等

■主に木津川下流の右岸側に位置し、城陽市、八幡市、京田辺市の一部、井手町から構成され、城陽市、八幡市を中心に古くから人口も多く、市街地を形成している地区である。

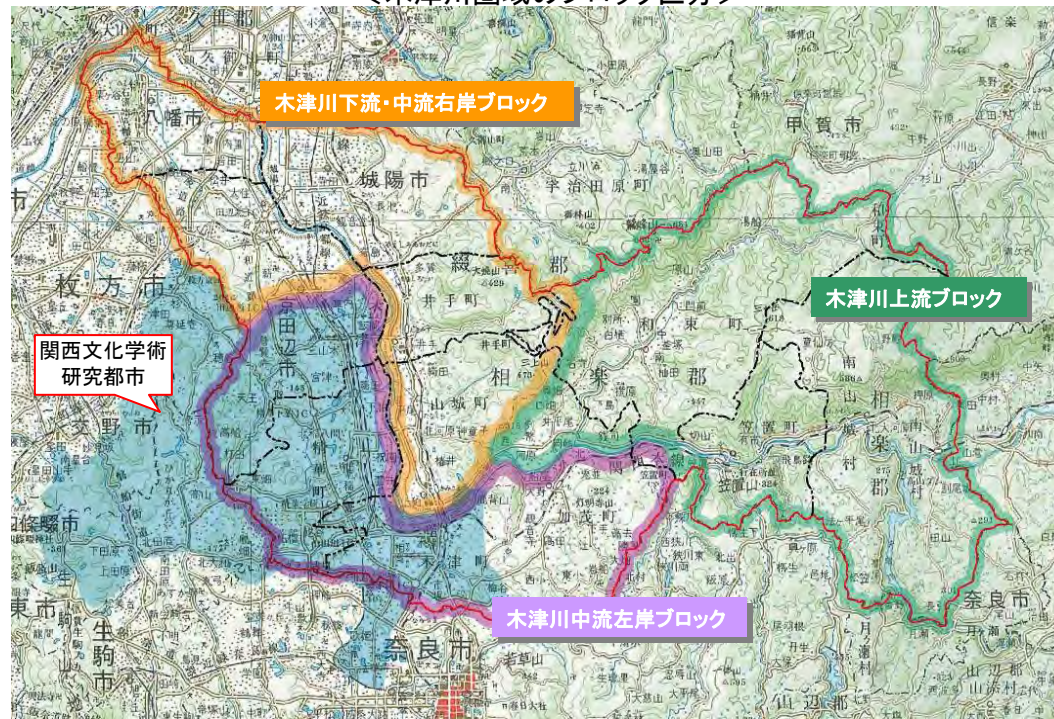
**木津川中流左岸ブロック** … 煤谷川、山田川、赤田川、大井手川 等

■主に木津川下流の左岸側に位置し、京田辺市の一部、木津川市の一部、精華町から構成され、近年関西文化学術研究都市関連の開発が著しく、人口も急激に増加しているブロックである。

**木津川上流ブロック** … 和束川、白砂川、布目川、新川 等

■主に木津川上流に位置し、木津川市の一部、笠置町、和束町、南山城村から構成され、山地の割合が多く、豊富な自然に囲まれたブロックとなっている。

＜木津川圏域のブロック区分＞





# 2. ブロック別の概要 (①木津川下流・中流右岸ブロック【1/3】)

## 概要

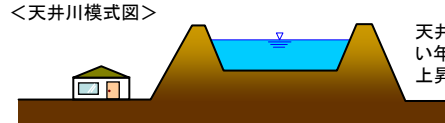


■木津川下流部の左岸には、大谷川水系があり、水系全体の治水安全度向上のため、放水路や排水機場が多数整備されている。

項目	木津川下流・中流右岸ブロック内
河川名	大谷川、防賀川、上津屋放水路、神矢放水路、馬坂川、手原川、天津神川、長谷川、青谷川、南谷川、玉川、渋川、天神川、鳴子川、不動川、荻の谷川(14河川+2放水路)
流域面積計	108km <sup>2</sup>
延長計	56km

## 河川の特徴

- 木津川中流部の右岸に位置する河川は、比較的流路延長が短く、急勾配である。
- 八幡市を貫流する大谷川など、下流の低地に市街地を形成している河川が多い。
- 防賀川、不動川等多くの河川で天井川を形成しており、堤防が決壊すると、川沿いの市街地に氾濫流が押し寄せ、市街地が長時間湛水するなど被害が大きくなる恐れがある。

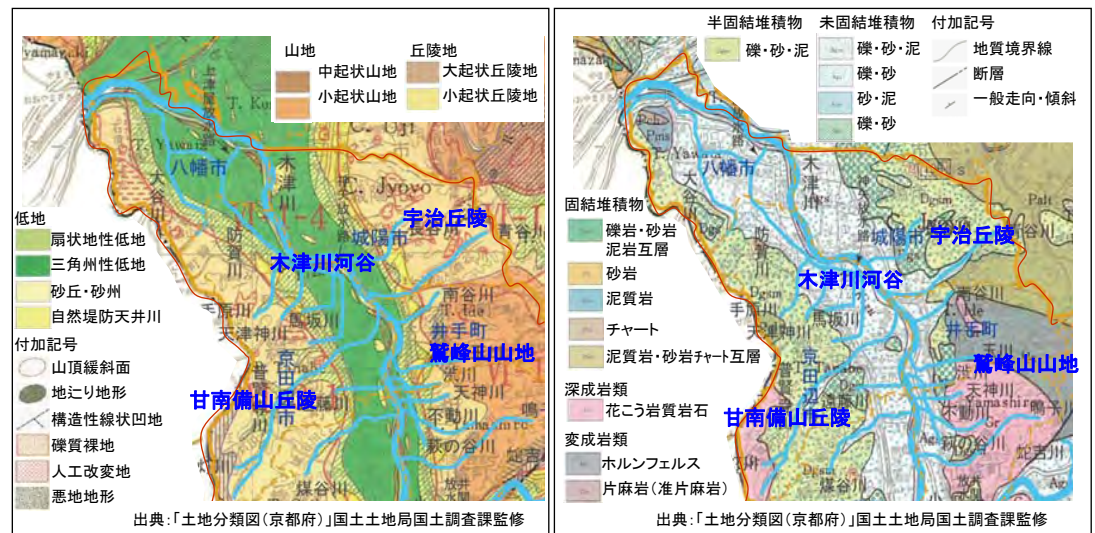


天井川は上流からの土砂が長い年月をかけて堆積し、河床が上昇することで形成される。



## 地形・地質

- 地形は、ブロックの中心を南北に木津川河谷の低地が広がり、両岸に甘南備山丘陵、宇治丘陵、鷲峰山山地が位置する。
- 地質は、木津川沿いに未固結堆積物の礫・砂で構成され、木津川両岸の丘陵は半固結堆積物の礫・砂・泥、山地部は花崗岩やホルンフェルス、泥質岩等で構成される。



# 2. ブロック別の概要 (①木津川下流・中流右岸ブロック【2/3】)

## 社会環境・開発状況

- 城陽市、八幡市は、昭和40年以降住宅都市として開発が進められてきた。
- 道路網は、国道1号、国道24号などが南北に整備され、国道307号が東西に伸びている。また、現在、八幡～城陽間で新名神自動車道の事業も進められおり、平成22年3月には第二京阪の京田辺松井インターチェンジが完成する。
- 鉄道網では、木津川沿いにJR奈良線、JR片町線、近鉄京都線が南北に通っている。

<新名神自動車道事業>



※出典 NEXCO 西日本HP

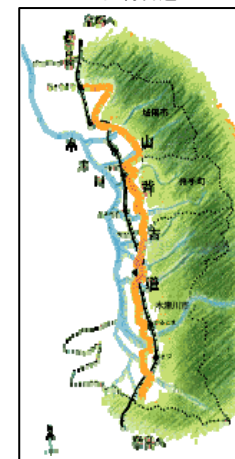
<木津川沿いの交通網>



## 歴史・文化財

- 樺井大塚山古墳は、国史跡に指定されている文化財で、邪馬台国の女王卑弥呼の鏡と呼ばれる「三角縁神獣鏡」が30面以上出土した古墳である。
- 石清水八幡宮は、重要文化財に指定されており、全国屈指の厄除の神社として年間を通し、多くの参拝客で賑わう。
- 山背古道は、木津川右岸に沿って、城陽市から井手町、木津川市へと続く1本の小径であり、周辺には古墳や古くからの町並み、豊かな自然の風景を眺めることができる。

<山背古道>



出典 城陽市HP

<三角縁神獣鏡>



出典 木津川市HP

<樺井大塚山古墳>



出典 木津川市HP

<石清水八幡宮>



出典 京都府HP

<文化財 市町村別件数>

市町村名	国指定史跡名勝天然記念物					京都府指定・登録等文化財				文化財環境保全地区	
	重要建造物	重要国宝	特別史跡	特別名勝	特別天然記念物	建造物	史跡	名勝	天然記念物		
城陽市	3		6				4				4
八幡市	4		1			5	2	1		1	2
井手町						1	1			1	2

出典 京都府教育庁指導部文化財保護課

- 明治6年来日したオランダ人工師デ・レーケは、砂防の必要性を説き、不動川流域に大小様々な石積堰堤を施工した。不動川砂防歴史公園は府の史跡に指定されており、デ・レーケによってヨーロッパ式の近代砂防技術が日本に初めて導入された記念すべき地として、整備されている。

<不動川砂防歴史公園>



出典 木津川市HP

<デ・レーケ堰堤>



出典 山城町商会HP



デ・レーケ銅像

## 2. ブロック別の概要 (①木津川下流・中流右岸ブロック【3/3】)

### 自然・景観

■青谷川上流には、鴨谷の滝と称される滝群があり、周辺地域の都市化が進む中で、豊かな自然が残されている。

■城陽市に位置する青谷梅林は、約1万本も白梅が咲き誇り、春の風物詩として親しまれている。

■木津川右岸は絶滅を危惧されているイタセンパラとその産卵に欠かせないイシガイの生息地であり、また、この地域一帯はスッポンの産卵場としても貴重な地域である。

■鳴子川、不動川中・上流域には、今昔物語の「蟹の恩返し」で有名な蟹満寺縁起に見られるように、古くからサワガニが生息し、地域の人々に親しまれている。

<青谷川 鴨谷の滝>



出典 京都府HP

<不動川>



サワガニ

出典 京都府HP

<青谷梅林>



出典 京都府HP

<木津川右岸域(城陽市)>



イタセンバラ

出典 京都府HP

### 住民活動

■南谷川では、ゲンジボタルが飛び交う環境づくりを取り戻そうと、清掃や生息環境の調査、パトロール活動が行われている。

■玉川では、昭和28年の大水害以降、聞かれなくなったカジカガエルの音色の復元活動が取り組まれている。

<井手町ゲンジボタル保護条例>

**井手町源氏ボタル保護条例(抜粋)**

第一条(目的)  
この条例は、本町に生息する源氏ボタルが自然環境の貴重な資源として、住民の誇いのある生活に欠かせないものとして、その生息環境を保全し、住民が一体となって、その保護を図り、優れた自然環境を継承していくことと、健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。

第三条(住民等の責務)  
住民、滞在者及び旅行者並びに事業者は、源氏ボタルの保護に支障を及ぼす行為をしないように努めると共に、町が実施する源氏ボタルの保護に関する施策に協力しなければならない。

第四条(保護区域)  
次に掲げる区域を保護区域とする。  
(一) 一 畿河川南谷川(谷ノ后橋から清水奥堰橋まで)  
(二) 谷川ボタル公園

第五条(捕獲の禁止)  
一 前条に指定する保護区域においては、源氏ボタル、源氏ボタルの幼虫及びカワナを捕獲してはならない。  
二 保護区域以外においても、源氏ボタルをみだりに捕獲しないように努めなければならない。

第八条(罰則)  
第五条第一項の規定に違反した者は、一万円以下の罰金又は料料に処する。

井手町役場

出典 京都府

<ゲンジボタル保護区域>



出典 井出町HP

ゲンジボタル

<カジカガエル>



出典 井出ネット

# 2. ブロック別の概要 (②木津川中流左岸ブロック【1/3】)

## 概要



- 関西文化学術研究都市関連の開発が著しく、煤谷川、大井手川など、今後流出量の増大が懸念される河川が多い。
- 山田川では、上流が奈良県管理区間となる。

項目	木津川中流左岸ブロック内
河川名	ふけんじ ぼおつき いぬいたに 普賢寺川、鬼灯川、遠藤川、煤谷川、乾谷川、乾谷川放水路、山田川、渋谷川、山松川、鹿川、小川、井関川、井関川放水路、大井手川、石部川、赤田川、新川(15河川+2放水路)
流域面積計	86km <sup>2</sup>
延長計	45km

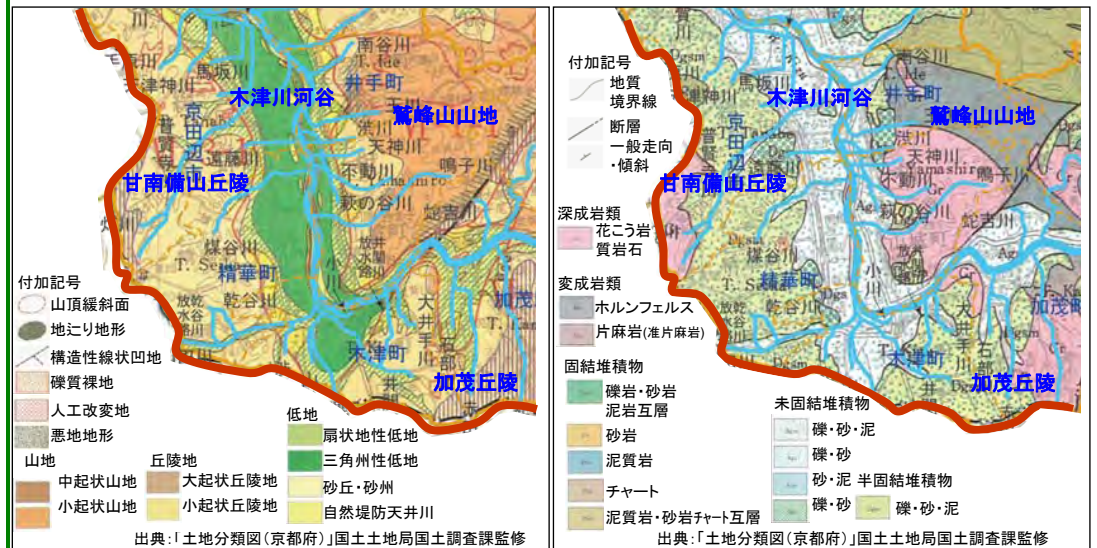
## 河川の特徴

- 流域内に関西文化学術研究都市の開発を含む河川が多い。
- 山田川は、昭和63年に関西文化学術研究都市の整備と併せて改修され、概ね年確率1/100規模の洪水まで安全に流下させることができる非常に治水安全度の高い河川である。
- 煤谷川では、流域の開発に伴う流出増に備え、一級起点に防災調節池が設置されている。



## 地形・地質

- 地形は、ブロックの中心を南北に木津川河谷の低地が広がり、両岸に甘南備山丘陵、鷲峰山山地が位置する。また木津川の南側地域には、加茂丘陵が位置する。
- 地質は、木津川沿いに未固結堆積物の礫・砂で構成され、木津川西岸から南岸は半固結堆積物の礫・砂・泥、東岸の山地部は花崗岩やホルンフェルス等で構成される。



## 2. ブロック別の概要（②木津川中流左岸ブロック【2/3】）

### 社会環境・開発

- 平成に入り、関西文化学術研究都市関連の開発が進み、国立国会図書館（関西館）をはじめ、さまざまな研究・文化施設が立地している。
- 道路網は、京奈和自動車道や府道22号線が南北を結んでいる。
- 鉄道網は、木津川に沿ってJR奈良線、JR片町線、近鉄京都線が南北に通っている。JR木津駅周辺では、関西文化学術研究都市木津地区の玄関口として、駅前整備が平成17年より進められている。

＜国立国会図書館 関西館＞



出典 けいはんなフィールドミュージアムHP

＜JR木津駅周辺＞



出典 京都府HP

### 自然・景観

- 南山城平野の中央部に位置する飯岡丘陵は、蛇行侵食していく過程で形成されたものであり、平野部にあるものとしては珍しい丘陵である。
- 甘南備山は、京田辺市西端の大阪府との府境にあり、四季折々の自然を満喫でき、花見や紅葉、バードウォッチングなど見所も多い。

＜飯岡丘陵＞



出典 京都府HP

＜甘南備山＞



出典 京都府HP

### 歴史・文化財

- 新殿神社は、室町時代に建立された本殿を持つ地域の氏神であり、神社内には、重要文化財に指定されている十三重の石塔がある。
- 浄瑠璃寺は、聖武天皇が行基に命じて建立させたと伝えられており、国の特別名勝に指定される浄瑠璃寺庭園や国宝に指定される九体阿弥陀如来像が安置される。
- 酬恩庵は重要文化財に指定されており、通称、一休寺として有名である。
- 木津は江戸時代の木津川水運の拠点であり、木津浜では淀や大和、笠置に向けて農作物等の運搬が行われた。木津船中奉納絵馬には江戸時代に木津川を航行していた全種類の船が描かれている。

＜幼少時代の一休禪師＞



出典 酬恩庵一級寺HP

＜十三重の石塔＞



出典 京都府HP

＜木津船中奉納絵馬＞



出典 JA京都やましろHP

＜浄瑠璃寺庭園＞



出典 木津川市HP

＜文化財 市町村別件数＞

市町村名	京都府指定・登録等文化財										
	国指定史跡名勝天然記念物		国指定史跡名勝天然記念物		京都府指定・登録等文化財		京都府指定・登録等文化財		文化財環境		
	建造物	史跡	建造物	史跡	建造物	史跡	建造物	史跡	天然記念物	文化財環境	
京田辺市	6	1	1	1	1	5	1				6
木津川市	19	3	3	1	1	2	8	2		1	8
精華町	2					1					1

出典 京都府教育庁指導部文化財保護課





## 2. ブロック別の概要（③木津川上流ブロック【2/2】）

### 社会環境

- ブロック内(笠置町、和東町、南山城村)は、面積の約70%が山林であり、宅地は約4%程度で集落が点在している程度である。
- 道路網は、国道163号が東西に伸びている。また、和東川と平行に、木津信楽線が伸びている。
- 鉄道網は、JR関西本線が東西に伸びている。

### 自然

- 布目川は、山間部を流れる清流であり、河床には岩が露呈している。兩岸の山々は四季折々の美しい彩りを見せる。
- 笠置山の頂上付近には、奇石・怪石が多く、ひととき奇観を呈している。
- 京都府立南山城少年自然の家の周辺の湿地帯は、京都府の天然記念物に指定されているハッチョウトンボの生息地として貴重な地域である。
- 東海自然歩道が月ヶ瀬駅から高山ダムを経て、木津川に沿って、笠置山まで続いており、夢絃峡など自然豊かなハイキングコースとして人々に親しまれている。

<布目川>



出典 京都府HP

<笠置山>



出典 京都府HP

<田山地区の湿地>



出典 京都府HP

<東海自然歩道からの景色 夢絃峡>



出典 京都府HP

ハッチョウトンボ



出典 農林水産省HP

### 歴史・文化財

- <sup>く にのみやこ</sup> 恭仁京は、天平12年(西暦740年)に、聖武天皇により平城京から遷された都である。加茂盆地に計画された都は、壮大な都市計画のもと、宮殿等の造営が急ピッチで行われたが、わずか5年の短命で幕を閉じ、その後、難波宮へ遷都となる。
- <sup>こんたいじ</sup> 鷲峰山の山頂付近は、金胎寺を中心に山岳霊場の地として、古くから自然が残っている。

<恭仁京>



恭仁京の位置

出典 木津川市HP、加茂町商工会HP

<金胎寺>



出典 和東町HP

<文化財 市町村別件数>

市町村名	国指定史跡名勝天然記念物						京都府指定・登録等文化財								
	建造物	史跡	名勝	天然記念物	建造物	史跡	名勝	天然記念物	文化財環境	文化財環境	文化財環境				
	重文	国宝	一	特別	一	特別	一	特別	指定	登録	指定	登録	指定	登録	保全地区
笠置町	1		1						2						1
和東町	3		1						1				1		1
南山城村									2						1

出典 京都府教育庁指導部文化財保護課

### 住民活動

- 白砂川では、施設整備による生物や水質の変化の把握を目的として、水生生物の生息調査を行っている。調査では、地元の小学校の児童が参加するなど、体験学習を行っている。

<白砂川体験学習の様子>





# 3. 木津川圏域の災害史（既往災害）

## 昭和28年水害

■昭和28年8月の南山城水害では、時間雨量100mmを記録し、氾濫や土石流の発生、天井川の堤防の決壊などによって甚大な被害が発生した。  
 ■昭和28年9月の台風13号では京都府域全体が大雨に見舞われ、木津川の堤防が決壊するなど、圏域内の各地で浸水被害が発生した。

昭和28年災害		人的被害		住宅被害				合計
		死者・行方不明者	負傷者	全壊・流出家屋戸数	半壊戸数	床上浸水	床下浸水	
8月	南山城水害 <sup>1)</sup>	336	1366	752	554	1649	2721	5676
9月	台風13号 <sup>2)</sup>	2	55	106	215	1201	4035	5557

出典 1)京都府の昭和28年災害 2)南山城水害誌

玉川



天神川



不動川



和東川



## 過去30年の水害

■昭和57年7月の台風10号や昭和59年6月の梅雨前線豪雨、昭和61年7月の梅雨前線豪雨、平成2年9月の豪雨、台風など、浸水被害が発生している。

河川名	年度	異常気象名	床下浸水(棟)	床上浸水(棟)	出典
大谷川・防賀川	昭和57年	豪雨、台風10号	121	7	水害統計
	昭和61年	豪雨	689	35	京都府災害の記録
煤谷川	平成11年	梅雨前線豪雨	1	-	水害統計
赤田川・石部川	昭和57年	台風10号	1	-	水害統計
	昭和61年	豪雨	1	-	加茂町資料
	平成2年	豪雨、台風19号	-	1	水害統計
蛇吉川	昭和57年	豪雨、台風10号	7	-	水害統計
乾谷川	昭和58年	台風10号	2	-	水害統計
打滝川	昭和61年	豪雨	32	6	水害統計

<木津川圏域>



①大谷川(昭和57年8月)



②井関川(昭和59年6月)



③赤田川(昭和61年7月)

